上杉四郎高景番所の柵をこのもて堅でる法性寺
八幡殿の如くに足せ大縄をくり結事なり物又
後の山より立きる板を足きたび赤恠なる恠をとき出
柱をたつてぞ作りける又武者と如ぎ出仕者一人も無で
板巻を為せ本座のほのくきて立き大野の人新たる板
をたてきりける長さ六寸の法誠と科如ちとく皆感
じけり

畑屋城飯田猪熊守討死之事

上杉四郎高景城ハ義之一味あるべしとの仰を出
りなされけるを所より近国の諸将加勢して山形に地陣を
仕く相之陣を張られ大きに恐るる所なり
宮ヒ内兵部義之一味の仰を蒙て近国の諸将を
急ぎ召集し計策をして
出合ひ防ぐべきと又は方々遠て相寄ぎかと色に評定
ありけるに関東一味の仰を蒙て皆相こゝ
なりて仰之方の城を攻所猛威を奮ふ中に近辺の大名
らず加勢して山形に集る近国の諸将も方々陣起の事